

平和宣行動のとりくみ！地域ブロック会議すすむ

県内どこでも平和委員会の声が聞こえるとりくみ！

「2016年 秋の平和宣行動」は、平和委員会始まって以来、県内6ブロックで同時並行に展開されます。6つのブロックで会議が開かれ、10月中・下旬の期間の行動について話し合われました。ブロックとは、

○県央 ○県南1（土浦・石岡周辺） ○県南2 ○県北
○県西 ○県東（鹿行）です。

1. 宣伝カーに掲げる横断幕は、以下のものです。

各ブロックの宣伝カーに合うよう、事務局作成して送付します。費用は事務局負担。

「戦争法廃止」幟（のぼり）旗を各ブロックごとに、2枚配布します。

平和がいいよね！戦争法廃止！

茨城県平和委員会

沖縄に基地はいらない！

茨城県平和委員会

2. チラシは、10月17日（月）以降に配布します。

▼各平和の会は配布予定枚数を確認し、事務局に連絡しましょう。

10月10日（月）現在、の状況は以下の通りです。

▼チラシは50,000枚を印刷します。各平和の会・平和委員会での奮闘を期待します。印刷費の捻出がかなり厳しい状況です。印刷費は1枚2円になります。半分は事務局で負担します。

3. とりくみの日取りが決まりました！

○県 央：水戸周辺⇒10月20日（木）～10月26日（水）

友部・笠間⇒10月27日（木）～11月2日（水）

○県 西：下館⇒10月17日（木）・24日（木）

結城⇒10月29日（土） 結城

○県南1（土浦・石岡周辺）：10月17日（月）～15日間

○県南2（取手・つくばみらい）：10月12日（水）

の会議で決定する

○県 北：10月16日（日）～15日間

○県東（鹿行）：神栖・潮来・行方⇒10月16日（日）～31日（月）

鹿嶋・銚田⇒10月29日（土）～31日（月）

「平和の会しもつま 結成1周年の集い」を開催！

歌って笑ってリフレッシュ！ 平和運動をさらに！



9月15日（水）の夕べ、ゲストも含めて総勢18名での、ささやかな一周年記念の集い。会場は「ピアスパークしもつま」。一年前、結成大会を予定した場所。大雨による鬼怒川堤の越水により泥水をかぶり閉館。会場変更により追いつけず、一年ぶりに使用して、係の人の親切な対応と40分の超過分のおまけに感激。

「歌って笑ってリフレッシュ」という企画。「歌って」は木村泉事務局長のご縁で遠路参してくれた鹿嶋うたごえの2名の方の進行とギター伴奏で、「故郷」に始まり、中島みゆきまで多彩な曲目を熱唱。個人的には「山賊の歌」と「琵琶湖周航の歌」を歌えて幸せでした。50年前の自分に帰った一瞬でした。

「笑って」は、「寅さんの心を伝える会」で活躍中の植木寅次郎さんによるトークショー。我が地元、常総線の駅で映画に

使われた駅はどこ？などのクイズ形式で、映画のシーンを懐かしみながら聞いたひととき。とてもリラックスできました。

第二部は場所を変えて、9名で“ノミニュケーション”。2年目の活動に向けて、狙い通り「リフレッシュ」した夜となりました。 <平和の会しもつま 事務局長 青木勇>



PKO参加5原則 実態からも破綻！

殺し殺される

南スーダンへの自衛隊派遣反対

11月から、陸上自衛隊第9師団第5普通科連隊（青森市）を中心にした部隊が、アフリカ・南スーダンに派遣しようとしています。戦争法にもとづいて、「駆けつけ警護」や「宿营地共同防衛」などの武器使用任務を付与し送り出そうとする安倍政権のたくらみを、何としてもくい止めなければなりません。元陸上自衛隊富士学校・衛生学校研究員の照井資規氏も「『駆けつけ警護』が新たな任務として付与される…積極的に戦闘に参加するのであるから、戦死者の発生は免れない」「自衛官は戦死する職業になった」（「軍事研究」10月号）と明言しています。

戦後初めて、自衛隊が国外の戦場で「殺し殺される」戦闘に参加し、他国民を殺傷し、自らも命を落とす——その危険が現実のものとして迫っています。

他国民と自衛隊員の命のかかったこの新任務付与による派兵を許さないことは、私たち平和運動の当面の最大の課題です。

10月中旬にもその決定が下されようとするなか、草の根の宣伝行動を全県規模で広げましょう。



少人数でも「自衛隊員の命がかかった問題」として訴え、反対世論を広げましょう！

平和新聞

2016年10月15日（土曜日）

2122号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 760

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

茨大調査「自治体は住民の意向をくむ必要がある」と提言！

東海第二原発の再稼働、9割が否定的意見！

茨城大学人文学部の渋谷敦司教授（地域社会学）は、2010年から毎年、JCO臨界事故の起きた東海村と近隣の日立、那珂、ひたちなかの3市の住民に意識調査を実施しています。今年も各地域住民1000人、合計4000人を対象に実施しました。

東海第二原発の今後のあり方については、肯定から否定までの6つの選択肢（その他を含む）で聞いています。回答者は、1079人でした

- ・「運転停止したまま廃炉に向けた準備を」 42.9%
 - ・「再稼働は凍結して地域で白紙から議論すべき」 10.8%
 - ・「耐震防潮対策を徹底するまで運転再開すべきでない」 30.7%
 - ・「なるべく早く運転再開」 6.1%
 - ・「老朽原発に代わる新型炉を新設」 5.6%
- 条件付きを含め、再稼働に肯定的意見は1割強でした。
また、再処理工場や研究施設など、東海村の原子力施設に対して、
- ・「不安」または「少し不安」を感じる 67.6%
- となっています。

* 福島原発事故後に高まった原子力施設への不安感も依然強いことが分かりました。



東海第二原発の再稼働は許されない。廃炉しかない！

原発事故から5年。政府や原発関係者はいろいろなことを言っています。しかし原発稼働がなくとも電気は十分に足りています。福島原発事故を起こした東京電力へ、政府はこれまでに8兆円余の税金をつぎ込んでいますが、解決の糸口も見えていません。新聞等には「20兆円以上必要」との記事も見えています。

また安倍政権は、4月から実施している「電力の自由化」で原発の採算が悪化した場合、不足分を税金で補てんする案や、「原発

の廃炉費用を再生可能エネルギー使用の人たちから徴収」するなど検討しています。

使用済み核燃料の処理も不可能です。万が一「事故」が起こった場合は避難計画があろうとなかろうと人が住めない国土になり、住民生活も破壊され長期間帰還できない状況が発生するのは、福島原発事故ではっきりしました。まして40年間近になる老朽原発である東海第二原発の再稼働は許されません。

クリスマスにワインを片手に語ろう！！「白」限定500本

国産 ビンテージワイン もちろんヌーボー！！

日本が世界に誇る日本固有のぶどう品種である甲州ブドウとマスカット・ベリーAで造られた新酒ワインを、「山梨ヌーボー」と命名して発売しています。白ワイン用として日本で古くから栽培されてきた日本固有のぶどう品種です。山梨のぶどう栽培の歴史は1300年。その先代から受け継がれてきたぶどう畑で収穫され、丹精こめて造ったワインが「山梨ヌーボー」です。

フレッシュでフルーティーな果実の香りが特徴の「山梨ヌーボー」は、口当たりがいいだけでなく、洋食・和食を問わず様々な料理と共に楽しめるワインとして幅広い支持があります。

特に近年は評判が高くなり、なかなか手にはいらない状態になっています。

今年も白ワイン「アルガーノ 甲州2016」のみのご案内です。どうぞ、今年もクリスマスでワインを片手に、仲間とともに平和を語り合う時間を作りましょう！！



購入希望の方は、地域の平和の会、もしくは平和委員会までお申込みください。頒布価格 1500円

新潟県・参院選野党統一で当選の森ゆう子さん講演！

日時：10月30日（日）

18：00～20：00

場所：つくば市内（決定しだい連絡）

先の参議院選挙で、新潟県の野党統一候補として勝利した森ゆう子さんの講演を計画したのは、茨城県市民連合です。

なかなか日程が決まらなかったのは、新潟県知事選が10月16日にあり、泉田知事が突然出馬辞退をし、新たに知事候補を決めるにあたって、野党統一候補がきまらず、その調整に森ゆう子さんが奔走されていたためです。

さらに国会開催中で、各種委員会があり、本会議も開かれて時間が取れない、また土曜・日曜は新潟に帰る用事が多い、ということもあったようです。

10月29日・30日は、東京・丸の内、「森ゆう子と語る会」が予定されていて、週末は新潟に帰らない。それで10月30日の、「語る会」終了後、茨城県に来ていただけるということになりました。

新潟県には柏崎刈羽原発があり、その再稼働をめぐる野党間でも意見が対立、共産・社民・生活の3党は再稼働反対、民進党は原発反対ではない「連合」との関係で、再稼働に反対とは言えない。そのため、知事候補について野党4党で「統一候補」を立てることができない、という現状にあったようです。（現在や統一候補で選挙中）

これって、茨城県と同じ構造です。そうした中で、森ゆう子さんが新潟県の参議院統一候補となった経緯、選挙戦での統一行動の内容、森さんが当選した後の、森さんと民進党との関係、などなど、いろいろお聞きして、それを参考に、茨城県の衆議院議員選挙の闘い方を考えたいと思います。

ぜひぜひ、10月30日(日)の講演会に参加しましょう！

